

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪府中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

◁ 在庫管理

Q : 資金繰りを楽にするには在庫管理が大切だと聞きましたが、どうしてでしょうか。

A : 在庫の増加はそのまま必要資金の増加につながります。在庫は常にチェックして管理しないとじわじわと増加してしまいます。

【解説】

欠損続きで資金不足になる場合を別にすると、資金繰りが苦しい原因は、売上代金の回収遅延と過剰在庫にあることがほとんどです。期末に、何日売れるだけの在庫をかかえているかを表す在庫日数を計算してみましょう。

$$\text{在庫日数(日)} = \frac{\text{商品の期末棚卸高}}{\left[\frac{\text{年間の売上原価}}{365} \right]}$$

在庫日数が長いと、会社に資金負担がかかり、また、不良在庫が含まれている可能性も高くなります。在庫日数を当期と前期で比較することにより、在庫の状況の変化がわかります。ちなみに、全業種平均の在庫日数は52.1日、製造業平均は55.1日(日経経営指標)となっています。

商品の在庫は、放っておくとじわじわ増加する傾向があります。だれでも、注文があったらすぐ納入できるように手許には十分な在庫を用意しておきたいと考えるのが普通です。しかし、それでは資金繰りが大変です。在庫の増加は、そのまま必要資金の増加につながり、金利の増加を招くこととなります。

また、量的側面だけでなく、売れ筋や儲け筋の商品構成と鮮度の高い品揃えなど、質的側面の改善も必要です。

